学校番号	3027

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭基礎の学びをさらに深め、様々な課題を解決する能力を身につけよう。
・中高家庭科、小学校家庭科に必要な知識を整理し、将来家庭科を教えるための知識を身につけ、実践的・体験的な学習を通して科学的な理解に基づいた技術を身につけよう。
・学んだことを自分の問題として捉え、よりよい生活をめざそう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の変化に対応できるような基礎的な知識と技術を身につける
【思考力、判断力、表現力等】
日常の家庭生活の課題に気づき、実際に解決できる能力を身につける
【学びに向かう力、人間性等】
持続可能な社会の実現をめざして、広い視野を持つ工夫ができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常の家庭生活に関心を持ち、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて実践できる基礎的な知識と技術を身につけている。	持続可能な社会の実現をめざして、社会の問題や自分の生活の課題に気づき、解決策を構築する中で、創造する能力や、論理的に表現する能力を身につけている。	実習・実験・体験において実践的な態度で積極的に学ぼうとしている。 主体的に深く考察し、他者との意見をまとめ、伝えようと工夫をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	衣生活	○持続可能な衣生活 ・企業における取組 ・生活における衣服の取り扱い ○被服実習 ・裁縫の基礎基本 ・トートバッグ製作 ・編み物 ・織物	a:被服管理について理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識と裁縫の技術を身につけている。 b:健康で快適な衣生活などについて課題を見つけ、その解決をめざして考え、適切に判断し、表現している。 c:衣服管理と着装、健康で快適な衣生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り込もうとしている。	プリント 技能テスト 作品	プリント ファイル プリント	観察 作品の取り組み 振り返りシート
2学期	保育	○子どもの発達 乳児保育体験 ○子どもの生活 乳幼児 ○子どものための社会福祉	a:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見つけ、その解決をめざして考え、表現している。また、子どもの健やかな発達を支える技術を身につけている。 c:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	プリント 小テスト	プリント	観察 体験レポート 振り返りシート
3学期	食生活	○小学校・中学校・高校の家庭科の学びを系統性を確認し、それぞれに適した調理実習を実践する。	a:栄養、食品、調理、食品衛生などについて、科学的に理解し、校種によって必要な知識を理解している。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見つけ、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	プリント 実験 実習	プリント 考察レポート	発表 観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度